

12月8日 朝の勉強会

ある日のことでした
上級医「B先生、この患者さんに
何か胃薬だしておいて」
わたし「あ、はい。…(なにかとは…?)」
患者：50歳 急性膵炎で入院中 EGDで
GERDあり

【ストレス性胃潰瘍予防 ICU入院患者study】

絶対適用（1つでも該当すれば適用）

凝固障害（血小板 $<50000/\text{mm}^3$, PT-INR >1.5 , APTTが正常時の2倍以上）（B）
48時間以上の人工呼吸器管理（B）
1年以内の上部消化管潰瘍または出血（D）
Glasgow Coma Scale（GCS） ≤ 10 （または簡単な指示に従えない）（B）
体表面積 $>35\%$ の熱傷（B）
肝部分切除後（C）
多発外傷（Injury Severity Score ≥ 16 など）、移植患者周術期、肝不全、脊椎外傷に該当（D）

相対適用（2つ以上該当すれば適用）

敗血症（D）
1週間以上のICU在室（D）
6日間以上の潜血（D）
高用量コルチコステロイド治療（ヒドロコルチゾン250mg/日相当量以上）

担当 B先生
テーマ 「PPI」

【PPI適応症と処方制限】

名称		適応症と制限処方日数				
先発品商品名	一般名	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	吻合部潰瘍	逆流性食道炎	非びらん性胃食道逆流症
タケプロン	ランソプラゾール	56	42	56	56+維持療法	28（30mgは適応なし）
バリエット	ラベプラゾール	56	42	56	112+維持療法	28（20mgは適応なし）
オメプラール	オメプラゾール	56	42	56	56+維持療法	28（20mgは適応なし）
ネキシウム	エソメプラゾール	56	42	56	56+維持療法	28（20mgは適応なし）
タケキャブ	ボノプラザン	56	42	-	56+維持療法	Hi-TOUCH MEDICAL

Take home message

PPIの**適応疾患**を知る

PPIは漫然と投与しない！

副作用と**添付文書投与期間**に注意
くすりはリスク

相互作用を考えて出そう